



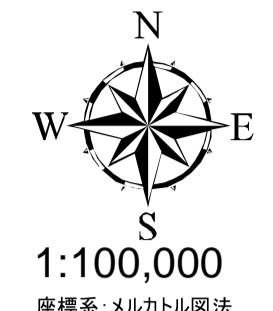
想定東海地震による駿河湾南西部津波防災情報図広域版（進入）

計算条件：最高水面・150mメッシュ

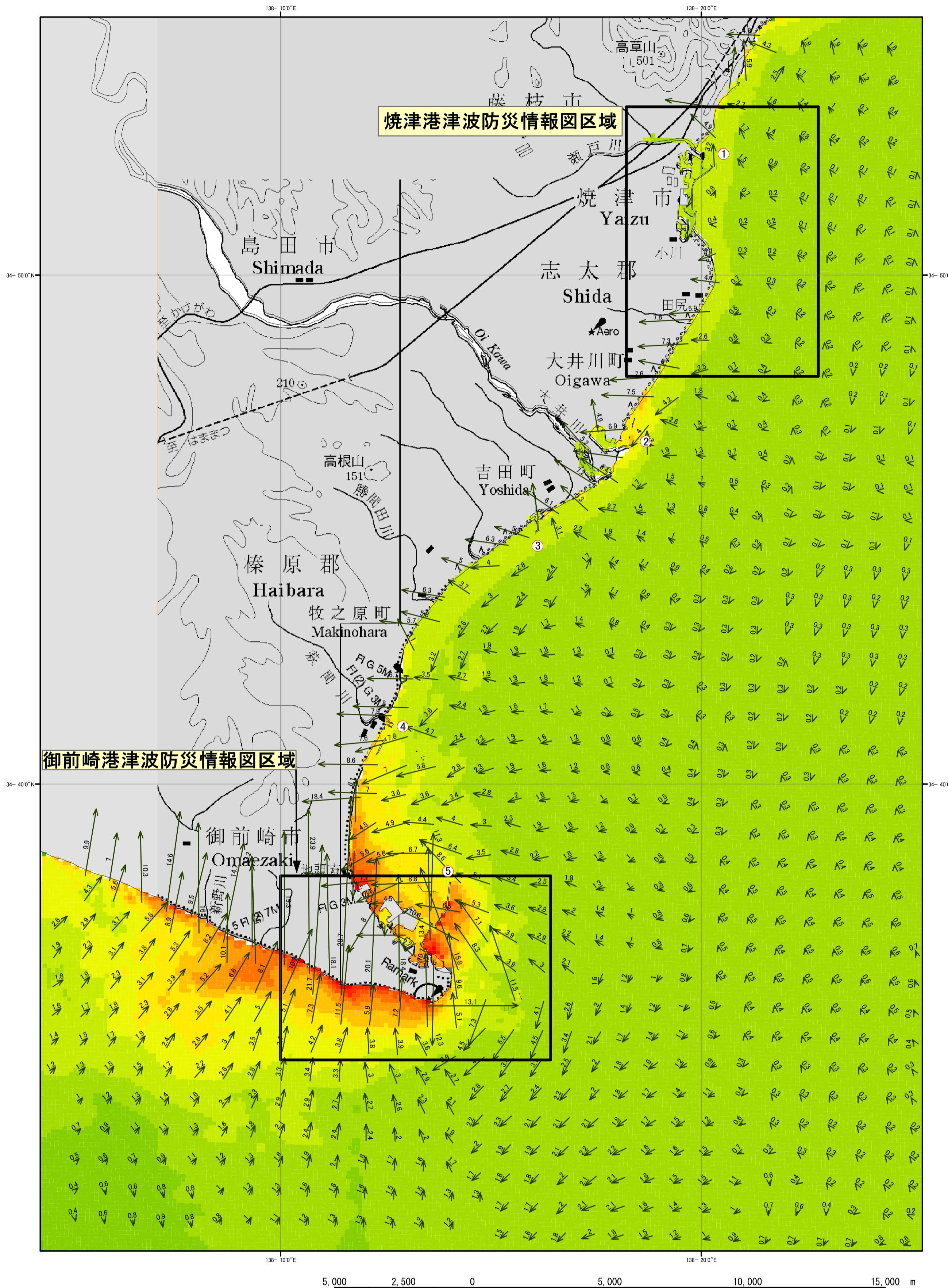
隆起量：平均138cm(42cm~196cm)

この図は150mメッシュで計算した津波の概要版であり、港湾内や沿岸域の情報は必ずしもシミュレーション結果が正確に反映されていません。なお、「津波防災情報図」（50mメッシュで計算）が整備されている海域はそれを参照してください。

この地域は震源域である。震源域では、地震発生直後に津波が発生する可能性があるため、津波の到達時間は記載していない。



座標系：メルカトル投影
測地系：世界測地系(WGS84)



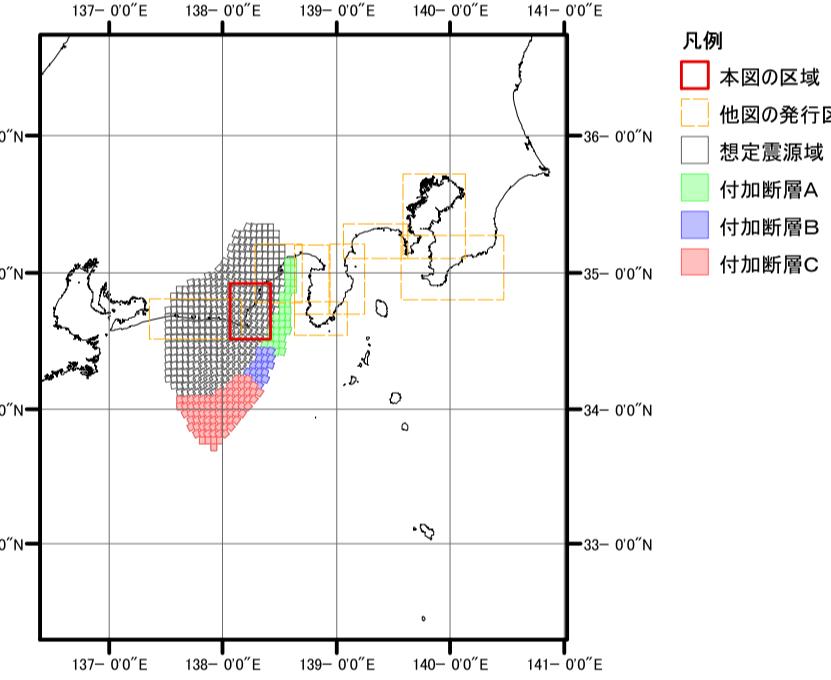
凡例

○	経時変化図出力点
■	最大水位上昇
■	600～最大705cm
■	550～600cm
■	500～550cm
■	450～500cm
■	400～450cm
■	350～400cm
■	300～350cm
■	250～300cm
■	200～250cm
■	150～200cm
■	100～150cm
■	50～100cm
■	50cm未満

進入時最大流 [knot]

→ 6 knot
→ 4 knot
→ 2 knot

本図の区域及び想定震源域と付加断層の位置

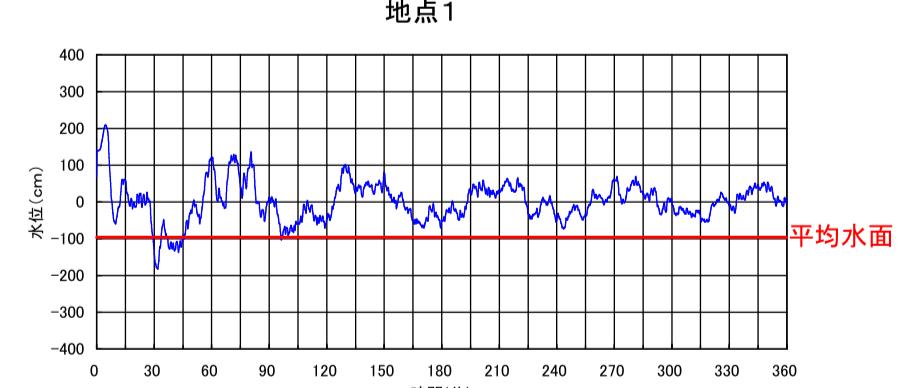


	中央の概位	中央の深さ
想定震源域	34°4'N, 138°0'E	19 km
付加断層A	34°4'5''N, 138°30'E	4 km
付加断層B	34°1'5''N, 138°20'E	6 km
付加断層C	34°0'N, 138°0'E	7 km

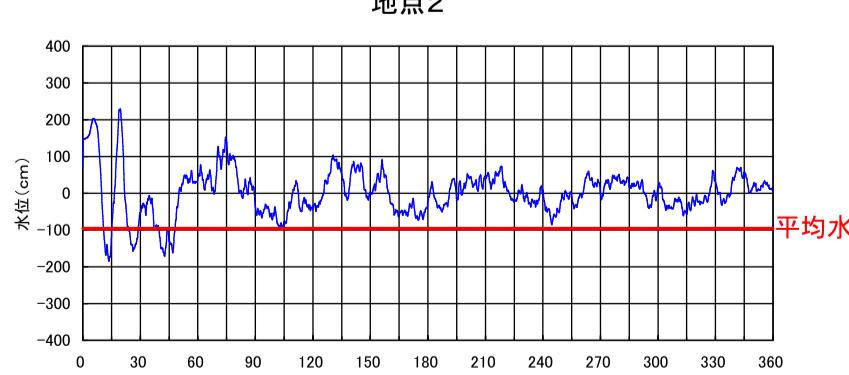
本図は、中央防災会議「東海地震に関する専門調査会（平成13年1月2日11日）」で公表された断層モデルを使用した。

経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。

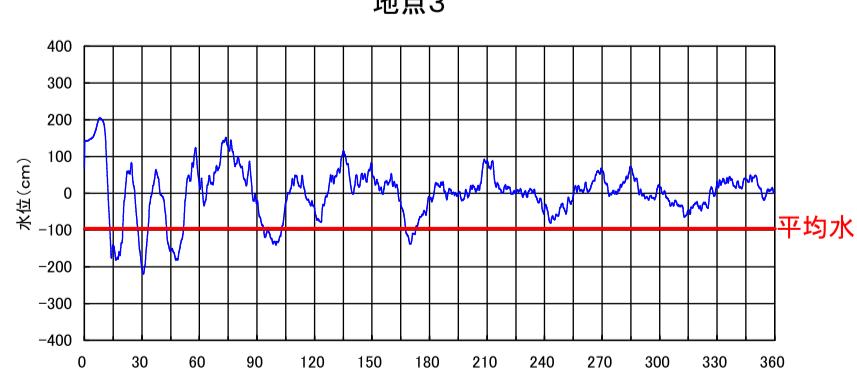
地点1



地点2



地点3



地点4



地点5

